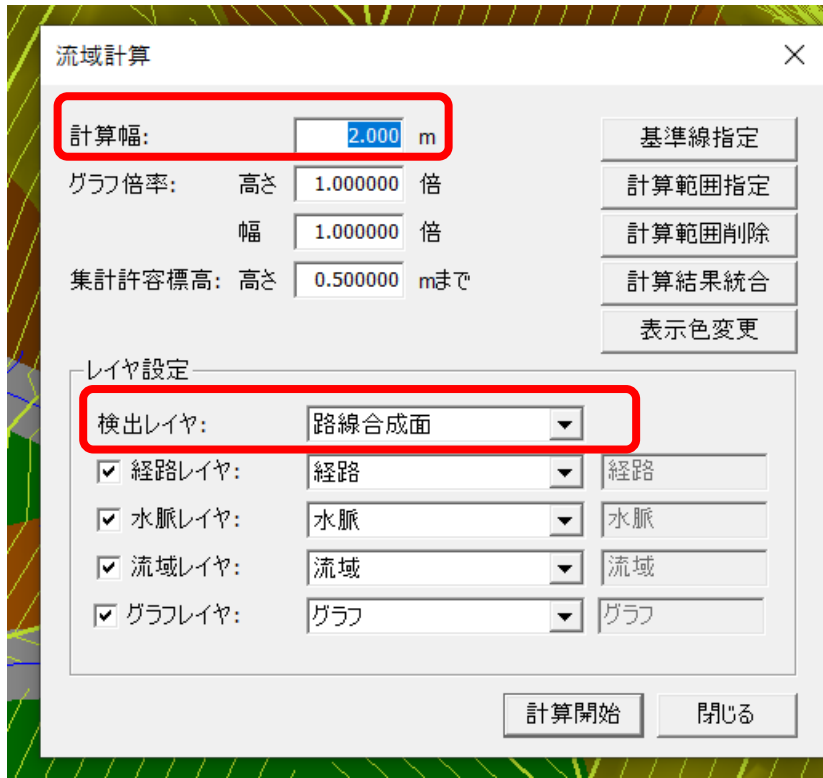


# AssistZ

作成した路線を考慮した流域計算

流域計算の計算幅を狭く設定（例：2m等）

検出レイヤを路線と地盤の存在しているレイヤに設定し計算する  
計算幅を狭くしすぎると処理に時間がかかるため注意。



作成し路線を考慮し、流域計算が行えます

